

---

# Cross Hearts

暁巳 りんご

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Cross Hearts

### 【コード】

N0410Z

### 【作者名】

暁巳 りんご

### 【あらすじ】

舞台は、対ジョーカー魔武人契約者組織      ?クロスハーツ?。

世界に多数居る魔武人契約者を統一し、加えてジョーカーに対抗できる優秀な人材を養成することを目的とした特別組織。

人材不足である今、組織の三流魔武人契約者12組の中には、“大鎌のアーサー”と契約を結んだ“リラ・マリポーサ”。

そして“双短剣の双子、レオンとリオン”の契約者“ミーティア・

ヴァイオル”。“妖刀・すみれ”の契約者“桜小路 櫻”。“扇子・輝 孤狼”の契約者“彩 莓花”の四組が居た。

この物語は「T4」を目指す、期待の新人四人組を中心とした、波乱万丈バタバタ奮闘記である。

## クロスハーツ

“ 生きた武器 ”

この世界には、意志を持った武器と人間の2種族が存在する。

魔力を持った武器 別名“魔武人<sup>マジ</sup>”は自分と“魔力の波動”が一致する人間と契約を結び、契約者に力を与えることが出来る。

“ 魔武人<sup>マジ</sup>契約者 ”

人々は、武器と契約を結んだ人間のことを、そう呼んでいた。

そして、舞台は対ジョーカー魔武人契約者組織？クロスハーツ？

世界に多数居る魔武器契約者を統一し、加えてジョーカーに対抗できる優秀な人材を養成することを目的とした、魔武人契約者による魔武人契約者のための特別組織。

そしてクロスハーツの魔武人契約者たちは、4人1組のチームを作り“トランプの魔力の欠片50個”と“ジョーカーの魔力の欠片”を3つの計53個の魔力を集められた者だけが与えられる称号、「キング」「クイーン」「ジョーカー」「エース(切り札)」の“T4(トップ4)”になるため、日々精進している。

ジョーカーとは、世界の裏側を住処とした魔武人契約者の敵。

トランプはジョーカーの手下・下僕。

彼らは、“武器と人間が契約を結ぶことで生まれる、魔武人契約者特有の魔力”を欲している。

その目的は未だ明らかになっていないが、クロスハーツはそれを阻止し、ジョーカーを殲滅するため長年敵と戦火を交えてきた。

だが人材不足でジョーカーに押されつつあるのが、今の現状である。そんな中、一流・二流・三流クラスのうち三流クラスに、今組織内で注目されている4組の魔武人契約者が居た。

「期待の新人」

彼らは、クロスハーツに新たな風を巻き起こすであろう…。

## 主な登場人物紹介

### クロスハーツ

リラ・マリポーサス：14歳

本編の主人公。大鎌のアーサーの契約者で激辛毒舌娘。

アーサー：年齢不詳（見た目は17 18歳）

他の魔武器とは桁違いの魔力を持つ、大鎌。人をからかうのが趣味。

ミーティア・ヴァイオル：15歳・愛称はミティ。

双短剣の双子、レオンとリオンの契約者。馬鹿真面目だがヘタレ。

レオン・アルデイ：14歳

魔武器、双短剣の左側で双子の兄。悪戯好きで面倒くさがり。

リオン・アルデイ：14歳

魔武器、双短剣の右側で双子の弟。悪戯好きで超スポラ。

桜小路 櫻さくらみち：14歳

妖刀・すみれの契約者。自称「侍」のドジっ子。ちなみに男。

皐月 すみれさつき：13歳

魔武器、妖刀。シャイで大人しい撫子。泣き虫で読書好き。

彩 莓花さい：13歳

扇子・孤狼の契約者。元気いっぱいの子ヤイナ娘で、クラッシュャー。

輝 フウ 孤狼 グライアン：15歳

魔武器、扇子。水の波紋のような独特の静けさを持つ、世話焼き少年。

クロス・ハーツ：年齢測定不可能（見た目は5歳児）

組織クロスハーツの長で、100年以上生きている（らしい）。中身は超幼稚。

シエル・フロツグ：25歳

クロス専属のメイドで、主人に振り回されてばかりの苦勞性なお姉さん（?）。

スピード・ジャック：年齢不詳（見た目は20代後半）

本名はグレイス・ヴァイオル。現スピード・ジャックでミティの実の父親。

スピード・クイーン：22歳

本名はシェリン・ノア。現スピード・クイーンで婚活中の美女。

ローザ・マリポース：13歳（推定）

リラの実の弟で、幼少の頃ジョーカーに連れ去られた。

ジョーカー

セノア：21歳

ジョーカー一家の長女。

カノア：18歳

ジョーカー一家の次女。

フラン：15歳

ジョーカー一家の長男。

ロエリア：年齢不詳（見た目は30代前半）

ジョーカー一家の奥様。

ラゼン：年齢不詳

2000年前に、クロスハーツの魔武器契約者によって封印された、  
ジョーカー一家の旦那様。

## リラ&アーサー

対ジョーカー魔武人契約者組織　クロスハーツが統治する街、モノクローム。通称「クロム街」。  
時刻が深夜をまわっているということもあつてか、街には灯り一つなく、静まり返っていた。

唯一聞こえるのは、木に止まっているフクロウの、ホウホウという鳴き声だけ。

だが、そんな街の風景に不似合いな2種の規則正しい音が、辺りの建物に反響しながら、街の一角で鳴り響いていた。

一つはヒールの音。もう一つはブーツの音。

ヒールの音を響かせるは、月明かりに照らされてキラキラと輝く、腰まである柔らかい白銀の髪。  
透き通るような白い肌に漆黒のドレスを纏い、澄み切った紫の瞳をした美少女。　　リラ。

そしてブーツの音を響かせるは、緩いウェーブのかかった真紅の髪を胸元まで伸ばし、髪とは正反対の蒼空の瞳。  
男性にしては白い肌をしていて、異様に整った顔立ちをしている美少年。　　アーサー。

コツコツ、カツカツと歩みを進めていく二人の足音は、ある場所まで来ると、いきなりピタリと止んだ。

それと同時に、路地裏から先ほどの足音とは違う、奇妙な音が聞こえてきた。

それは、グジュグジュという纏わりつくかのような、不快な音。

月明かりに照らされて壁に映った黒い影は、路地裏を抜けたところの突き当りで、自分に向かって背を向けている、二人の少年少女へ背後から近づいていった。

その距離は、彼らの耳に影の音が届くまでに迫っていた。

「…ホシイ…“契約者ノ特別な魔力”ガ…ホシイ…！」

地べたを這うような低い声。

この声を聞いた誰もが、背筋の凍るような感覚に襲われただろう。

「姿を現したわね」

だがその一方で、影に背を向けているリラは、この状況にも関わらず口元に弧を描いていた。

「“下級トランプ”…最近、組織の魔武人契約者を見境無く襲っているようだけど」

リラの凜とした鈴の音のような声と鋭い視線が、目の前でクネクネと体を捻らせている、特定の姿の無い物体へと突き刺さる。

「それも、もう終わりよ」

そして、リラの隣で黙りこくっていたアーサーも、口端を吊り上げたまま表情を変えずに、黒い物体へと言葉を投げかけた。

「とうとうここで…君の首、狩らせてくれる?」

彼が悪巧みを思いついた子供のような表情を浮かべた途端、目の前の黒い影　下級ランプは、大地を揺るがす唸り声を上げた。

そして待っていましたとばかりに、アーサーの体も光と共に消え、リラの手の中へと吸い込まれていった。

リラの手の中にある光が、形を成し始めたとき、下級ランプは彼女へ向かって勢い良く腕を振り下ろした。

「うるさいわね、近所迷惑よ!」

リラはその攻撃を前へ飛び出て難なくかわし、その勢いのまま手にある光を黒い影へと横へ振りかぶった。

彼女が光を振りかぶった瞬間、光は完全に形を成し、全貌が露となった。

それは、闇夜に輝く蒼空の刃の大鎌で、リラは自分の背丈よりも大きい大鎌を軽々と横へ走らせ、影と共に空気を斬った。

体を横へ真つ二つに切り裂かれ、金切り声で嘆いている黒い影。

リラの視界で黒い液体が溢き、水滴となって空を舞った。

すると、いきなり黒い影が跡形も無く木っ端微塵に弾けたかと思うと、途端にその弾けた影が一点に集まった。

その影が集まってできた正体は、青い光を放った石。

いつの間にか大鎌から人間の姿に戻っていたアーサーは、宙で揺ら

いでいるその石を手に取り、後ろに居るリラの方へと振り返った。

「はい、お疲れさん」

アーサーが手にある石をリラに差し出すと、彼女は残念そうにため息を吐きながら受け取った。

「最低ランクの“青い魔石”：クロス様直接の依頼じゃなかったら、こんな無駄なこと絶対やらないわ」

「まあ、そう言わないの。食後の運動くらいにはなったんじゃない？」

リラは呆れた顔でアーサーを見やり、懐から赤・黄・青の三色のビンを取り出した。

そのうちの青いビンに、先ほどの魔石を軽くぶつけると、魔石はビンに吸い込まれるように取り込まれ、中の青い液体の一部となった。

「ま、なにはともあれ、依頼達成よ。早急に組織へ戻ってクロス様に報告しましょう」

「そうだね」

まだ半分もいかない青いビンの中の水を暫く見つめていたリアは、一度自らを照らす満月に視線を向けたあと、先を歩くアーサーの後へ続いた。

そして、二人はクロスハーツへと歩き出し、夜の街へと消えていったのだった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0410z/>

---

Cross Hearts

2011年12月10日18時55分発行